

みぶりんだより

お知らせ Vol.7 2015年3月

壬生町町民活動支援センター 「みぶりん」

■開館時間

火～金 10:00～21:00 月曜日、年末年始

土・日・祝 10:00～17:00

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1 (保健福祉センター内)

TEL:0282-21-8731 FAX:0282-21-8732

Mail:mibukatsu@bz04.plala.or.jp

登録者数「100」を達成！

早いもので、みぶりんは1周年を迎えることができました。町民の皆様のお蔭です。思い起こすとあつという間の一年間でした。何もないゼロからのスタートでしたが、町長をはじめ関係者の方々が種々な会議等で登録を薦めてくれたことにより、3月中旬現在、団体93、個人9、計102が登録され、目標数100を上回る成果をあげることができました。本会報を通じ、厚く御礼申し上げます。



今年は発足の年でしたが、9月から月1回の会報の発行、ふくしまつりにおいては、「木の実工作」の開催や「花の販売」等を行ないました。また、壬生町の花のボランティア5団体が集まり、種々な悩みや問題解決のため2回の打合せ会を行ない、関係者と協議を行なうことにより問題を解決するなど成果をあげることができました。

さらに、11月と3月にみぶりんに登録している団体の活動発表会を保健福祉センター会議室で開催しました。この発表会は、それぞれの団体がどのような活動を行なっているのか、他の団体に知っていただき、視野を広め、

一緒に新しい活動を始めるきっかけになればと考え、開催しました。3月14日(土)に開催した、『第2回活動発表会』は5団体の方々に活動報告をしていただき、全国的に活躍している徳原真人氏に、「花みどり活動による地域づくり」について、30分という短い時間でしたが内容のある講義をしていただき、出席者の方から良かったという声を沢山いただきました。

特に、①自分に出来る事を自ら動いて状況を変えていく試みをする。②住民の相互理解と協力の大切さ。③将来的にボランティア団体が街づくりの政策提言を行なえるようになればというまとめの言葉がありました。さらに、ボランティアができる健康の幸せを感じるということも言われております。日々、この感謝の気持ちを心に抱きながら、すばらしいボランティア活動が継続できますよう、みぶりんもお手伝いしてまいります。本当に1年間ありがとうございました。



■壬生町手話サークル たんぽぽ（取材報告）

「手話サークルたんぽぽ」は、手話を勉強したいという方と聴覚障害者の方が集まり、毎週金曜日（第1～第4）夜7時～8時30分まで、保健福祉センターの録音室で勉強会をしています。現在、会員は20名ほどです。

取材は2回目ですが、今回は、「ない」という表現について勉強していました。「食欲がない」「お金がない」「体力がない」「知識がない」「家に居ない」「待ち人がこない」・・・などの表現の違いを学んでいました。

また、手話には顔の表情（表現）も大切であること、その場に応じた表わし方があるということがわかりました。

「手話言語法意見書」が全国各地で可決されています（壬生町では平成26年9月可決）。これから「手話」は身近な言語として広まっていくと思います。

（平成27年1月、鈴木取材）



■壬生北小で、点字教室・手話教室 開催（取材報告）

壬生北小学校4年生の総合的な学習の時間で、3月4日に点字、3月5日に手話の授業が行なわれました。点字は「壬生町点訳グループゆうがお」の方に来て頂き、児童達は実際に点字器を使い、点字の打ち方を一から教えてもらいました。自己紹介の文章を点字で打ち、それを視覚障がい者の方に読んでもらいながら一人一人自己紹介をしました。

手話は「栃木市聴覚障害者協会」からお二人の方に来て頂き、生活の色々なシーンを手話でどう表わすかを聴力障がいの方から教えて頂き、最後に質疑応答をしました。

点字・手話とも、児童達にとって有意義な時間になったと思います。



■北っ子児童クラブで「絵付け体験」

2月25日（水）壬生北小学校・北っ子児童クラブにて、お皿の絵付け体験を行いました。わんぱく公園から講師二人を招いて、ご指導いただきました。

工程は簡単で、まず、専用の転写シートをパンチやハサミで好きな形に切り抜きます。パンチは固く、低学年児童には難しい様子でしたが、上級生に手伝ってもらいながら、カラフルな図形をたくさん作っていました。切り抜いた転写シートは水に濡らし、真っ白なお皿に配置していきます。全員、おしゃべりをせずに集中！特に女の子は、頭を抱えながらオリジナルのお皿を夢中で作っていました。終了の時間が来ても納得がいかないのか、ずっと作業を続いている児童もいました。

焼き上がりまで二週間程度かかりますが、卒業式には間に合う模様。小学校最後の素晴らしい記念になるのではないでしょうか。



登録団体の活動紹介

きのこの北研 食育推進プロジェクトチーム

＜活動内容＞

私達の食育推進プロジェクトチームは、近隣地域の子供達に対し「育てる喜び、食べる喜びを伝えたい」をコンセプトとして2010年7月に社員12名により結成し、地元壬生町や下野市の保育園や小学校で食育授業による活動を始めました。授業は当社の製造している「しいたけ菌床」を材料に、キノコに関する知識を伝えるため、キノコの名前や栄養など、クイズ形式を用いて楽しくにぎやかに進行し、「しいたけ」の発生管理方法などを学んでいただきました。

子供達は私達が提供した「しいたけ菌床」を使って毎日の水やりを行いながら、立派に育った「しいたけ」を収穫していました。菌床から生える「しいたけ」は、芽が出てから成長する過程の観察ができることや収穫の楽しみを感じることができます。また、収穫した新鮮な「しいたけ」を料理して食べることで真のおいしさを味わうことができます。

私達のチームはこれからも地元の子供達を始め、全国のキノコ生産者と共にキノコの食育活動を続け、皆さんに感動を与えていきたいと思います。





関ツネさんが語る「民話の世界へようこそ」

民話を語って二十余年、壬生の語り手・関ツネさんによる民話語りの会を開催します。心の交流ができる距離感での、テレビやホールでは味わえない民話の世界を体感ください。

4月 25日 (土)

午後 1時 30分～午後 3時

会場 ふれあい交流館（しののめ公園内）

入場無料 どなたでも自由に入場できます

プログラム

- ・縄解き地蔵さま・山の神の若返りの水
- ・五分次郎・いたちの子守歌
- ・鬼は内 他



壬生町の伝説紹介のパネル展示も行います

主催・壬生民話ふくべの会

後援・壬生町社会福祉協議会

みなと荘でのボランティアを募集しています

『とちぎいやしの園芸研究会・みなと荘ボランティア』は、園芸を通じて、介護施設に入所されている方との交流の時間を作ることを目的に活動しています。現在、男3名、女4名で活動していますが、一緒に活動する仲間を募集しています。

高齢者の比率が上昇していく時代に、社会参加や健康づくりの一環としてボランティアに参加してみませんか？



- 活動場所 (社福) 関記念橋の木会 老健みなと荘
- 活動日 第2, 第4水曜日 午前9時30分～11時30分
- 持参するもの エプロン、上履き



【編集後記】ツバキやウメが今を盛りに咲き誇り、これから春本番をを迎えます。私が好きなのは落葉樹の新芽を見ることです。クヌギやコナラなど、真夏には緑一色になりますが、新芽の季節にはあさぎ色、もえぎ色など、こんなに種々な色があると思えるほどの様相を呈します。これが日本の色なのでしょうか。春本番を迎えて、色彩の妙をお楽しみください（柳田） ■早いもので、みどりんが発足してから1年になります。今まで「1年目だから」と大目に見て頂きましたが、これからは真価を問われます。（鈴木） ■睡眠は疲労回復の王様。15分程度の昼寝でも体力を取り戻すには効果的。でも、寝過ぎは逆効果になるので気を付けましょう。（飯島） ■家の前には梅の木があります。窓を開けると春の香りを運んでくれて、心が洗われるようです（山川）